

「発達障害／発達の違い」を抱える子どもたち。

本当に役立つ子育ての情報は客観的な事例と実績の中にこそ見つかるのではないのでしょうか。「こう考えてこう行動した」「こうしたからこうなった」「現在はここまで成長している」という具合に……。

「子どもが社会に出ていく時に本人が幸せであるために、きちんと基礎学力をつけさせてあげる方法論を保護者にももっと学ばせてほしい」(小2の保護者／教育関係者)

いまこそ、長いスパンの実績を参考に、「課題を改善しながら子ども自身の力を伸ばす接し方・教え方」が必要ではないでしょうか。

シンポジウムでは、親、子ども(当事者)、指導者がそれぞれの体験と視点からどの子どもにも効果的な子育てのポイントを紹介します。

どの子にも学ぶ力がある！

—— 幼児期からの効果的な教育を語る

開催日時／2月25日(土)

9:45～11:45(受付開始 9:20～)

会場／川口総合文化センター リリア 1階

催し広場(埼玉県川口市川口 3-1-1 JR 川口駅西口すぐ)
048-258-2000

プログラム(シンポジウム)／

保護者(18歳／医療系専門学校生の母親 Mさん)

子ども／社会人(Hさん)

進行・解説(河野俊一さん)＋質疑応答

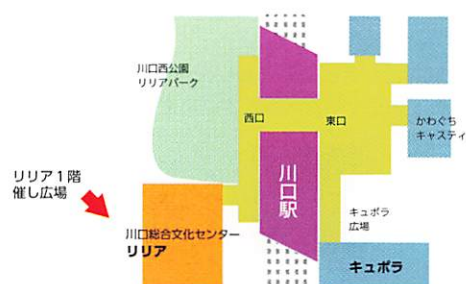
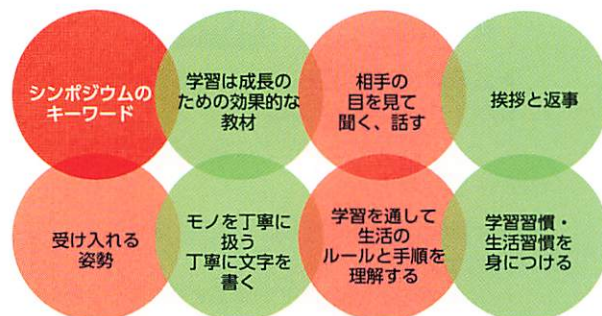
定員／100名(対象＝保護者・教育・療育・医療・福祉関係者、市民など)

参加費／1,500円(資料代等)

後援／内閣府、文部科学省、厚生労働省、埼玉県、さいたま市、埼玉県教育委員会、川口市教育委員会、蕨市教育委員会、草加市教育委員会、越谷市教育委員会、北区教育委員会、豊島区教育委員会、足立区教育委員会、荒川区教育委員会、我孫子市教育委員会、埼玉県社会福祉協議会、川口市社会福祉協議会、埼玉県医師会、埼玉県小児科医会、埼玉県看護協会、全日本私立幼稚園連合会、全国私立保育連盟(その他、申請中)

協力／NPO 法人 ともくん家(生活介護事業所もんきいぼっど)

2022年度ヤマト福祉財団福祉助成事業



連続セミナー
第 31 回

実例から知る、
「発達の違い」が気になる
子どもの教え方

シンポジウム・スピーカー

● 親の立場から M さん

「自閉症」「広汎性発達障害」の診断後、3 歳から現在までエルベテークで学習する M くん（公立高校 3 年生、4 月から医療系専門学校へ進学）の母親。

来春から医療系の専門学校に入学予定の公立高校 3 年生 M くん。専門家から「話せないし伸びないから早くあきらめなさい。この子と会話することは一生ないでしょう」とまで言われたそうです。しかし、母親の M さんは「息子でも学べる力がある。できるようになることが必ずあるはずだ」と教育・学習に期待をかけました。本を読んで知ったエルベメソッドに 3 歳 3 月から取り組み、発音・発語だけでなく、家庭での接し方と学習のやり方についても具体的な指導とアドバイスを受けハンディを乗り越えてきたのです。



第 30 回セミナーの様子
(2022 年 11 月 12 日 川口駅前市民ホール フレンジア)

シンポジウム・スピーカー

● 子どもの立場から H さん

幼児期に「自閉症 (ADHD)」を指摘されたあと、年中 (5 歳) の 3 月から小学 6 年生までエルベテークで学習。大学を卒業し、社会人 4 年目。

改めてこれまでの自分の人生を振り返ると、恵まれたものであるということを実感する。さまざまな人に愛され、いろいろなものを授けられてきた。幼少期に自閉症と診断されていたと打ち明けても信じてもらえないことが多いくらいだ。自他ともにその事実があったことを忘れる日々を過ごしている。

だが、確かに昔そうだったのである。自分の思いを口に出すことができず、嫌なことがあると暴れる、落ち着きがなくなり一時も座っていられないという時期があったのだ。(H さんの言葉 日本評論社「発達障害の「教え」を乗り越える」より)

シンポジウム・司会と進行

● 指導者の立場から 河野俊一さん

エルベテーク代表 / 医療法人エルベ理事

1996 年、民間の教育機関エルベテーク設立。発達の違いと課題をもつ子どものためのコースも開設し、現在に至る (川口 / 大阪 / アメリカ)。

著書に『発達障害の「教える難しさ」を乗り越える』『自閉症児の学ぶ力をひきだす』(いずれも日本評論社)、『誤解だらけの「発達障害」』『子どもの困った！行動がみるみる直るゴールデンルール』(いずれも新潮社) など。2017 年 1 月～2018 年 1 月、『教育新聞』(教育新聞社) にコラム (10 回) を連載。当セミナーをはじめ、講演会、研修会での講師多数。

＊エルベメソッド

「まずしっかり見る、聞く姿勢を育てることが最優先」「関心のない物事に対しても注意を向けることができる姿勢づくり」など 12 項の具体的な教育方針と指導目標を掲げ、学習を通して子どもの成長をめざす指導法。特徴は「発達上の違いを抱える子どももそうでない子どもも、身につけさせたい力は同じである。そして、その接し方・教え方、指導の仕方原則は同じである」という考え方と、26 年間の豊富な事例・実績に基づく実践。

お申込み／事前申し込み制 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

▶ 当 NPO 法人の HP にアクセスいただき「申し込み専用フォーム」からお申し込みください。

教育を軸に

Q 検索

▶ お電話 (080-8726-1000) でも受け付けております。

▶ FAX でのお申し込みは「2 月 25 日セミナー参加希望」と明記の上、お名前・ご住所・ご連絡先を添えて、048-837-6926 宛て FAX 願います。

＊通常の会場定員 (150 名) に対し、密集を避けるために 100 名での利用とします

＊コロナ禍の状況によって定員が変更になる場合もあります

＊感染防止対策にご協力ください (入場の際、手指の消毒、マスクの着用、検温をお願いします)

主催／特定非営利活動法人 Education in Ourselves 教育を軸に子どもの成長を考える
フォーラム (〒336-0026 さいたま市南区辻 5-6-12-408)



ホームページの
QR コードです

企画協力／エルベテーク (埼玉県川口市本町 4-13-11 電話 048-223-8224)

このセミナーから生まれた出版物です。

書店やオンライン書店でお買い求めください。

親が語る、「発達の違い」が気になる
子どもの教え方 ①

これまでセミナーで報告された対談形式の実例の中から 7 回分をピックアップし、1 冊の本にまとめました。

発行＝当 NPO 法人 / 定価 1,650 円 (税込)



力をひきだす、学びかたドリル ②

「書く」からはじめる 10 までのたしざん・ひきざん

「たして 10 になる数」とたしざんの基本的な組み合わせを九九のように覚える学習ドリル。ひきざんやくりあがり・くりさりの練習がグッと楽になります。対象は就学前の幼児と小学生。監修＝河野俊一

編集・発行＝当 NPO 法人 / 定価 1,100 円 (税込)

